

(長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第5回議事メモ

班	第3分科会(高齢者)
コーディネーター	石井 聡
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2021年10月23日(土) 10時00分から 12時30分
場所	開田自治会館 会議室
その他	参加者数 <u>14名</u> 欠席者数 <u>13名</u>

趣旨・概要

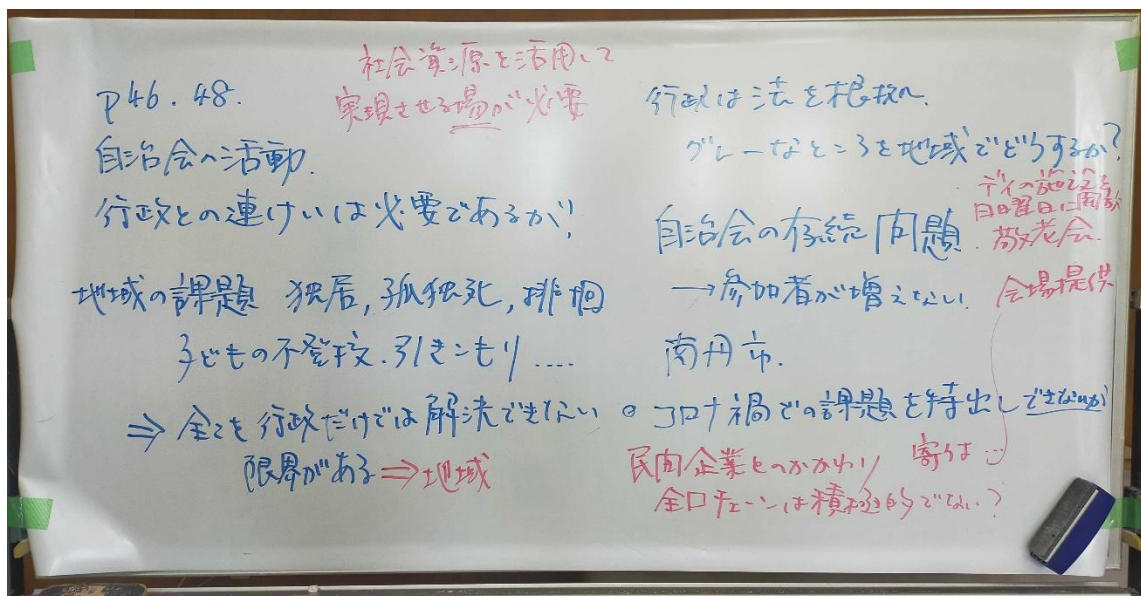
- 提案書(案)をもとに議論

主な論点

論点① 提案書(案)について

論点② 自分ごと化会議 前半戦を終えて

ホワイトボードの写真



協議の流れ

コ) 今回が第5回目。前半戦の最終回となる。提案書についてご意見をいただきたい。

提案書の内容を振り返りながら、修正点等がないか議論する。

構) 今後のスケジュール、提案書の構成について説明。

第I章 まちの課題 ～それぞれの課題と解決する方法～

コ) 提案書の第1章 課題1【高齢化に伴う自治会の弱体化（担い手不足）】について、自治会を中心に議論したが、自治会だけでなく地域コミュニティ協議会や、自治会に代わるような役割を果たしている地縁組織があるというお話があった。

課題2【世代間の交流、新旧住民の交流の不足】では、世代間の縦の繋がりが希薄になっている、地域との結びつきを求めている方もおられるという意見があった。

課題3【老後を楽しむための環境の不足】では、地域の中での環境整備がされていると、高齢者がいきいきと暮らせるのではないかと、高齢者が気軽に外出できるようなサービスがほしいといった意見があった。

課題4【地域での見守り、支え合いの脆弱さ】は、助けが必要な高齢者に対して、地域でどのようなことができるのかをまとめたものになる。行政のサービスと、地域が果たす役割との関係性についてのご意見をいただいた。行政のサービスが入ることで、地域の繋がりが切れてしまったということも。

課題5【外出困難者のサポート不足】では、高齢者の外出や買い物、ゴミ出しが困難であるといった話をまとめている。

委) 提案書の46・48ページの【行政と協力・連携する上での課題や改善策等】について、「すべてを行政に任せてしまうと自治会の存続問題にも繋がり」とあるが、自治会の存続が厳しいのは、担い手がないからで、行政サービスが充実しているからではない。行政サービスが充実しているから、自治会活動の存続が困難になっているように読めてしまう。この書き方で提案されてしまうと、自治会の活動をしてもらうために行政は何もしないということに繋がりがかねない。自治会の活動は行政と連携してやるべきもので、行政が余計なことをしていると思ったことはない。地域だけではできないこともあるので、行政サービスはまだまだ充実してもらいたいと思っている。

委) 地域の中には様々な問題があるが、これをすべて行政に委ねるのは無理があるというところからこの表現になっているのではないかと感じた。

コ) 行政サービスが充実しているから、自治会活動の存続が困難になっているように読めてしまうので、修正が必要かと思う。

- 委) 地域に根差しているのは住民で、その中をうまく繋ぐのが行政。立場が違うので、その連携がうまくいかないことがある。民生委員はボランティア、行政職員は仕事なのだからもっと動いてほしいと思うこともある。
- PT) 行政は法律に基づいた業務を行っている。法律に書かれていないところについては、地域の協力ができない部分。明確に線が引けないグレーなところは、行政でも地域でもできないので困っているところ。行政と地域で話し合っていく必要がある。
- 委) 自治会の存続問題の原因は、参加者が少ないこと。行政だけですべてを担うことができないのはわかっているが、行政が動くから自治会が衰退するという因果関係の記載がされていることに違和感をもった。
- コ) ご指摘を踏まえてどのような記載にするかを検討したい。
- 委) 40 ページについて、以前の自分ごと化会議で、自治会の活動にいかにか若者を取り込むかという話があったかと思う。その際に学校と連携してはどうかという案が出ていたと思うが、そういった文言が見当たらない。
- コ) 地域の③ D)の次に文言を追加する。
- 委) 47 ページの「高齢者の移動支援、手段が限定的で外出しにくい。」というのはどういうことか詳しく説明してほしい。
- コ) 市のコミュニティバスについて、ルートが長く、細かく回るので時間がかかり不便だというご意見があったかと思う。
- 委) 南丹市でお出かけツアーという取り組みをしている。美山町内に買い物ができるところがほとんどないので、隣の園部町まで移動支援の活動をしている。長岡京市はそういった支援が必要なレベルなのか、そこまででなくても小さな支援が必要なのか。長岡京市でも必要とされている方がいるのであれば、やった方がいいと思う。
- コ) 交通の問題は地域によって大きく差がある。便利・不便の感じ方や期待感も人それぞれ。おそらく長岡京市の住民の便利さの期待値は高いのではないかと思う。
- 委) コロナによって新しく出てきた課題がある。コロナ禍による課題とそうでない課題がわかるようにまとめてはどうか？
- コ) コロナマークをつける、コロナによる課題を分けて記載するなど、検討したい。

第Ⅱ章 まちづくりの担い手ごとにできること

第Ⅲ章 市民等と行政の連携をより進めるために

- コ) 民間ができることの内容が少ない。民間の取り組みについてみなさんから上手く引き出せなかったことを反省している。民間企業の活動について何か知っている方はないか。

- 委) 自治会を運営している立場からすると、長岡京市に本拠を置いている企業は関わってくれるが、全国展開のお店はなかなか積極的でないことが多い。秋祭りの際は、長岡京市の個人経営のお店に出店を依頼すると、協力してくれるところが多いが、フランチャイズのお店はそうではなかった。
- 委) 地域の運動会をする際に、個人経営をしているお店に寄付を依頼しているところは多い。自分の自治会では、敬老会の時に企業がホールを貸してくれる。そういった協力関係はある。ただ、去年はコロナで借りることができなかった。また、千春会病院が日曜日にデイサービスの部屋を地域に貸してくれている。
- コ) 自治会館がないところでは、飲食店の中の会議室を借りて活動をしているところがある。古い建物を持っている企業が、不登校の子どもの居場所として提供している例もある。おおげさでないが、民間のちょっとした支援が地域やNPOに役立っている場合がある。
- 委) 長岡京市でないが、民間の医療機関と地域が連携して認知症予防カフェをしている地域がある。そうしたカフェがあればいいなと思っている。
- 委) 長岡京市でも、希望する高齢者がいればやっている地域もある。ただすべての地域でやっているわけではない。長岡京市は社会福祉協議会が深く関わってくれる。高齢者は足が不自由な人が多いので、近くでないと参加できない。
- 委) 高齢者の外出が難しいことについて。民間と協力することで解決できないか？高齢者を迎えに行き、地元の商店で買い物をしてもらうなど。
- 委) 今出ている課題を活動に結び付けていくための話し合いの場が必要だと思う。資源だけでは解決しない。
- コ) アイデアがたくさんあっても、コーディネートする誰か、実現する誰かがいないといけない。
- 委) 77ページ、民間の欄に「シルバー人材センターの加入を促す」とあるがどういうことか？会議で話し合った記憶がない。
- コ) 改善提案シートで提出されたものかもしれない。元のデータを確認する。
- 委) 恐らく、定年退職をされたあとも、シルバー人材センターで能力を活かしてみませんか、ということだと思う。
- コ) であれば担い手は民間ではなく個人のところになるかと思う。

～ 休憩 ～

- 委) 78ページについて、祖母が要介護者。平日は老人ホームに入っており、休日は家に帰ってくる。母が主に介護しているが負担が大きい。ケアマネジャーの方が親身に相談に乗って下さり、どうすれば負担を減らせるかを考えてくれた。サポートが必要な場合に紹介する仕組みがもっとあればいいと思う。現在、行政が介護者・被介護者を定期的に訪問し支援する取り組みはどのくらいされているのか？

- PT) 課題があるご家庭には、行政や中学校区ごとに設置されている地域包括支援センターが個別に関わっていくが、介護保険を使ってサービスを受けられている場合は、介護保険法上のケアマネージャーがサポートすることになっている。あとは民生委員さんが支援してくださっている。
- 委) 何か有事の際に、民生委員から高齢介護課に連絡を入れると、1~2時間以内に来てくださる。そういった体制ができていますので、民生委員として活動するうえでありがたい。
- コ) 定期的に訪問するのはケアマネージャーの役割で、行政が出るケースは暴力や虐待、年金を取ってしまうなど、何らかの異変があったときかと思う。私の市では、介護者が思いを共有できる場がある。そうした場を行政が提供している例もある。
- 委) 76 ページの行政のところに「新しいコミュニティ組織を作る」とある。長岡京市ではほとんどの小学校区で地域コミュニティ協議会ができています。ここからさらに新しいコミュニティ組織を作るというのはどういうことか？ややこしくなるとしか思えない。
- コ) 改善提案シートに書かれたものかもしれない。元データを確認する。
- 委) 86 ページのエ「不要な行政サービスはしない」について、誰にとって不要なサービスなのかを明記してほしい。
- コ) 「住民にとって」不要なサービス。ご指摘を踏まえて表現を見直したい。
- 委) 86 ページのエ、行政の情報伝達について「ICT の進歩により多くのツールがある今」とあるが、高齢者の中にはそういったものを使いこなせない方がいる。お年寄りにも伝わる方法を考えてほしい。

自分ごと化会議 前半戦を終えて

- コ) 最後にみなさんから一言ずつ、これまでの自分ごと化会議の感想をいただきたい。
- 委) 大学生として参加して、知らなかったことを勉強させていただいた。授業では聞けない生の声を聴けてよかった。後半戦も学びながら意見を出せればと思う。
- 委) コミュニティを運営する立場として、力不足を感じた。コミュニティニュースがあまり読まれていない現状がある。どうやったら知ってもらえるのかについて、これを機会に考えていきたい。
- 委) この会議で議論した課題は長岡京市だけでなく日本全国の課題だと思う。他の地域の事例も参考にできればと思う。時代はデジタルになっている。高齢者もデジタルについていく努力が必要ではないかと思う。
- 委) 地域に携わりたいという気持ちがずっとあり、この会議でさまざまな立場の方の声を聴くことで学べたことが多かった。後半戦も真剣に考えながら意見を出したい。
- 委) 他の地域のお話を聞くことで、自分の地域でできていること、できていないことを知ることができてよかった。自分の地域で伝えていきたい。

- 委) 同じ長岡京市でも地域によって活動内容が違う。さまざまな事例が聞けてよかった。
- 委) 途中からの参加となった。提案書をじっくり読んで、皆さんに追いついていきたい。
- 委) 民生委員としていろいろな広報をしているが、なかなか伝わっていないということがわかった。どうしたら伝わるのかを考えていきたい。
- PT) 立場や年代や住んでいる地域が違くと、知らない情報がたくさんあるのだと感じた。業務で活かせることをたくさん知ることができた。
- 委) 大学で公共のことを勉強している。自分の地元のことをあまり知らず、この会議で他の方々の意見を聞いて勉強になった。自分ごと化できていると感じた。これからも勉強しながら意見を出していきたい。
- 委) 過去 4 回の議論をうまくまとめていただいたと思う。このまとめをどう条例に結び付けていくのかがまだイメージできないが、今後どうなっていくのか楽しみ。
- 委) 自治会がどういったものをあまり知らなかったので、この機会に知ることができてよかった。自分とは違う世代の意見が聞けてよかった。自分だと出てこないような意見が聞けた。
- 委) 後半戦もがんばりたい。
- 委) 自治会長として参加。議論をしている中で、自分と同じような問題意識を持たれている方や、自分には思いつかなかった問題があるということに気付かされた。様々な世代の方から出される解決策を聞いていると、自分には思いつかないようなものがあり、参加してよかった。
- コ) 市役所では自治会や地域コミュニティの仕事をしているので、皆さんからのご意見の一つ一つが毎日の仕事に活かされている。とても勉強になった。
- 本日いただいた意見は、市と相談したうえで、できるかぎり提案書に反映していく。
- 市) これから半年にわたって条例検討委員会で議論を行っていく。自分ごと化会議の参加者にも情報共有を行う予定。今後ともよろしくお願いします。